

Dell SE2222H/SE2222HV

デルのディスプレイマネージャ ユーザーガイド

モニターモデル：SE2222H/SE2222HV
規制モデル：SE2222Hf, SE2222HVf, SE2222Ht





メモ：メモは、コンピュータの使用方法を改善するための重要な情報が記載されています。

Copyright©2021 Dell Inc.またはその子会社。著作権所有。

Dell、EMCなどはDell Corporationまたはその子会社の商標です。その他の商標は、各所有者の商標である場合があります。

2021 - 04

Rev. A00

2 |

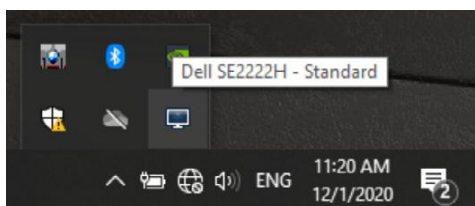
コンテンツ


| | |
|------------------------------------------|----|
| 概要 | 4 |
| クイック設定ダイアログの使用 | 5 |
| 基本的な表示機能の設定 | 7 |
| アプリケーションへのプリセットモードの割り当て | 8 |
| 簡単な配置でウィンドウを整理する | 9 |
| 複数のビデオ入力の管理 | 12 |
| アプリケーションの位置の復元 | 14 |
| アクティブなウィンドウへのDDMの接続 (Windows 10のみ) | 16 |
| 省エネ機能の適用 | 17 |
| その他のショートカットキー | 17 |
| トラブルシューティング | 18 |

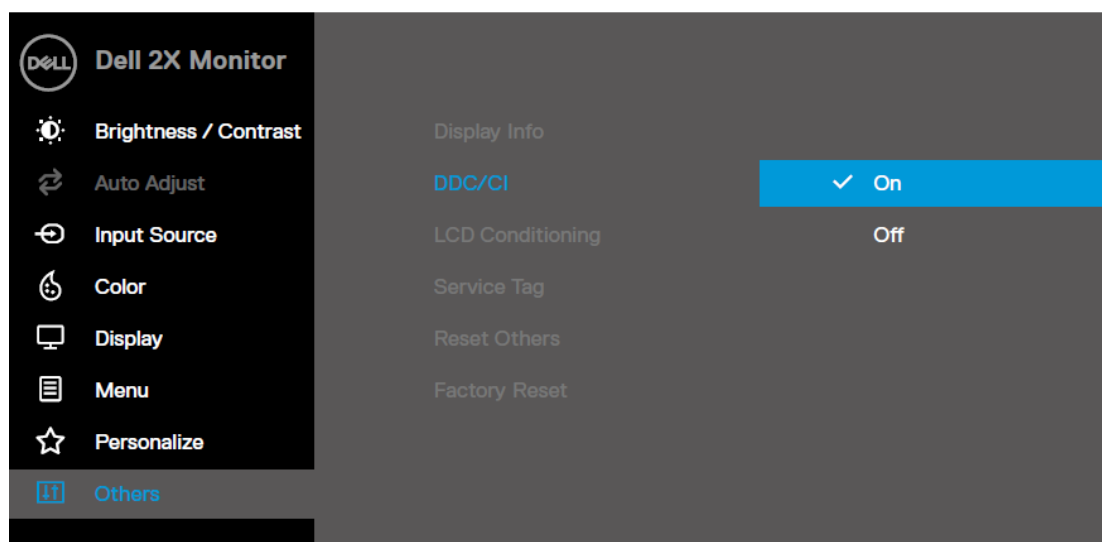


概要

デルのディスプレイマネージャは、モニターまたはモニターのグループを管理するために使用されるMicrosoft Windowsアプリケーションです。表示された画像の手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、ウィンドウの整理、画像の回転、および選択したデルモニターのその他の機能を有効にします。インストール後、システムが起動するたびにデルのディスプレイマネージャが実行され、アイコンが通知トレイに配置されます。システムに接続されているモニターに関する情報は、通知トレイアイコンにカーソルを合わせると表示されます。

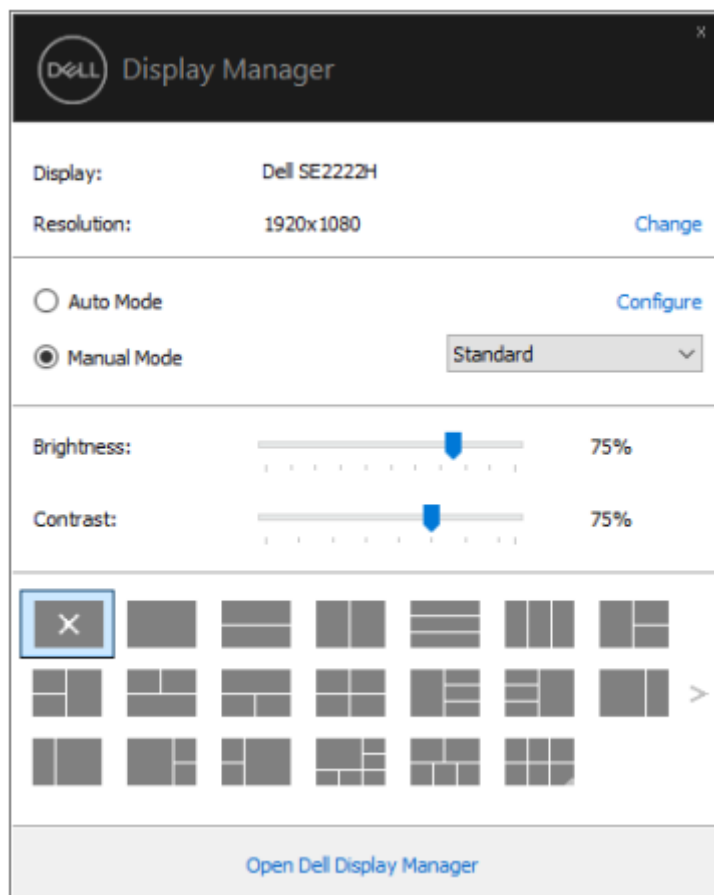


-  **メモ**：デルのディスプレイマネージャは、**DDC / CI**チャンネルを使用してモニターと通信します。以下のように、メニューで**DDC / CI**が有効になっていることを確認します。



クイック設定ダイアログの使用

デルのディスプレイマネージャの通知トレイアイコンをクリックして、[クイック設定]ダイアログボックスを開きます。サポートされている複数のデルモデルがコンピュータに接続されている場合、メニューを使用して特定のターゲットモニターを選択できます。[クイック設定]ダイアログボックスでは、モニターの明るさとコントラストレベルを簡単に調整できます。手動モードまたは自動モードを選択でき、画面の解像度を変更できます。



[クイック設定]ダイアログボックスでは、基本的な機能を調整するために使用されるデルのディスプレイマネージャの高度なユーザーインターフェイスにもアクセスでき、自動モードを構成し、他の機能にアクセスします。





メモ：

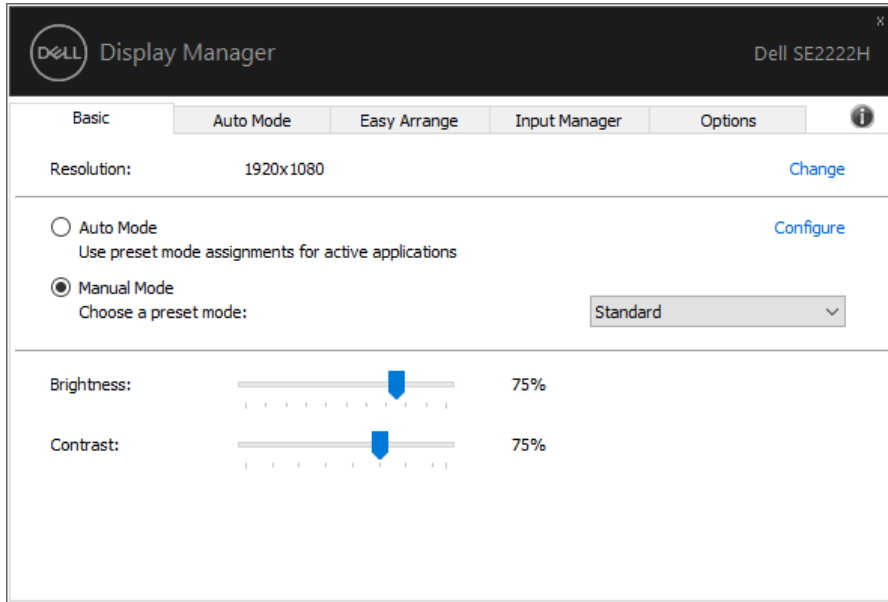
| 特徴 | 機能 | 説明 |
|---------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| クイック DDMアク セス | DDMUIを呼 び出すため のクイック キー | <ul style="list-style-type: none">・ Ctrl+Shift+D・ Page Up / Page Downキーを使用するか、「>」をクリックして、すべてのEasy Arrangeレイアウトをめくります。 |
| | マルチモニ ター設定で 個々のモニ ターを制御 する | <ul style="list-style-type: none">・ ドロップダウンボックスから選択したモニターまで、選択したモニターにデルのロゴが表示されます。・ モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。・ DDMUIを制御するモニターに移動します。・ Ctrl + Shift + Dを押して、マウスポインタの下にminiUIを表示します。 |



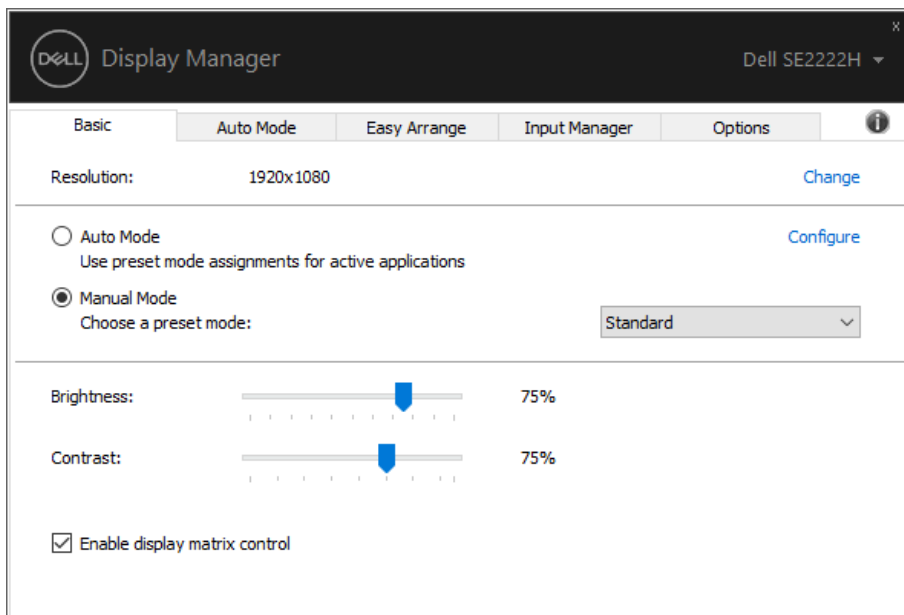
基本的な表示機能の設定

プリセットモードを手動で選択できる**手動モード**を選択するか、アクティブなアプリケーションに基づいてプリセットモードを適用する**自動モード**を選択できます。

画面上のメッセージには、現在のプリセットモードが変更されるたびに表示されます。選択したモニターの明るさとコントラストは、[基本]タブから直接調整することもできます。



- メモ**：複数のデルモニターが接続されている場合は、「ディスプレイマトリックスコントロールを有効にする」を選択して、すべてのモニターに明るさ、コントラスト、およびカラープリセットコントロールを適用します。



アプリケーションへのプリセットモードの割り当て

[自動モード]タブでは、特定のプリセットモードを特定のアプリケーションに関連付けて、自動的に適用できます。自動モードが有効になっている場合、デルのディスプレイマネージャは、対応するプリセットモードに自動的に切り替わります。

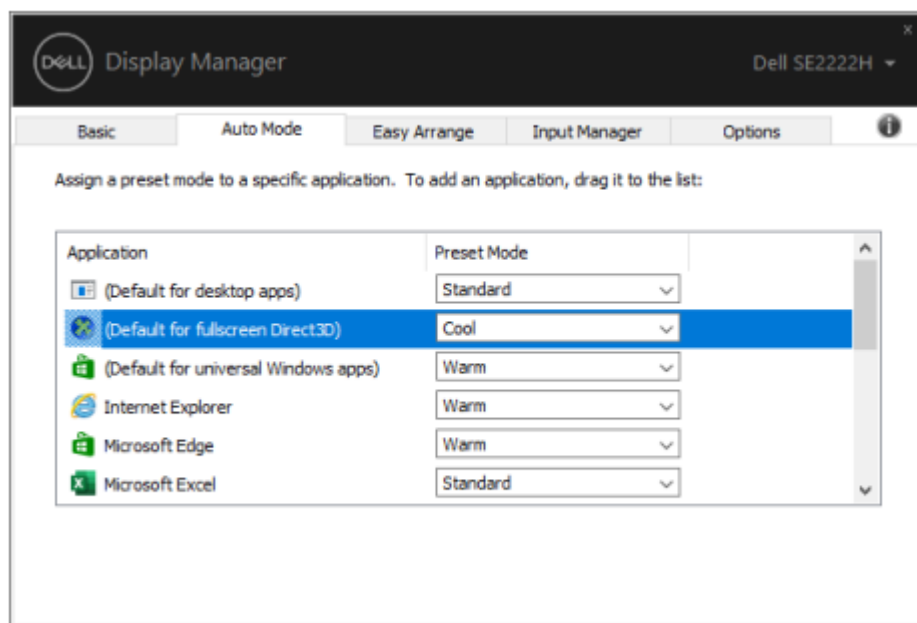
関連するアプリケーションがアクティブ化されます。特定のアプリケーションに割り当てられたプリセットモードは、接続されている各モニターで同じである場合もあれば、モニターごとに異なる場合もあります。

デルのディスプレイマネージャは、多くの一般的なアプリケーション用に事前構成されています。割り当てリストに新しいアプリケーションを追加するには、デスクトップ、Windowsのスタートメニューなどからアプリケーションをドラッグして、現在のリストにドロップします。



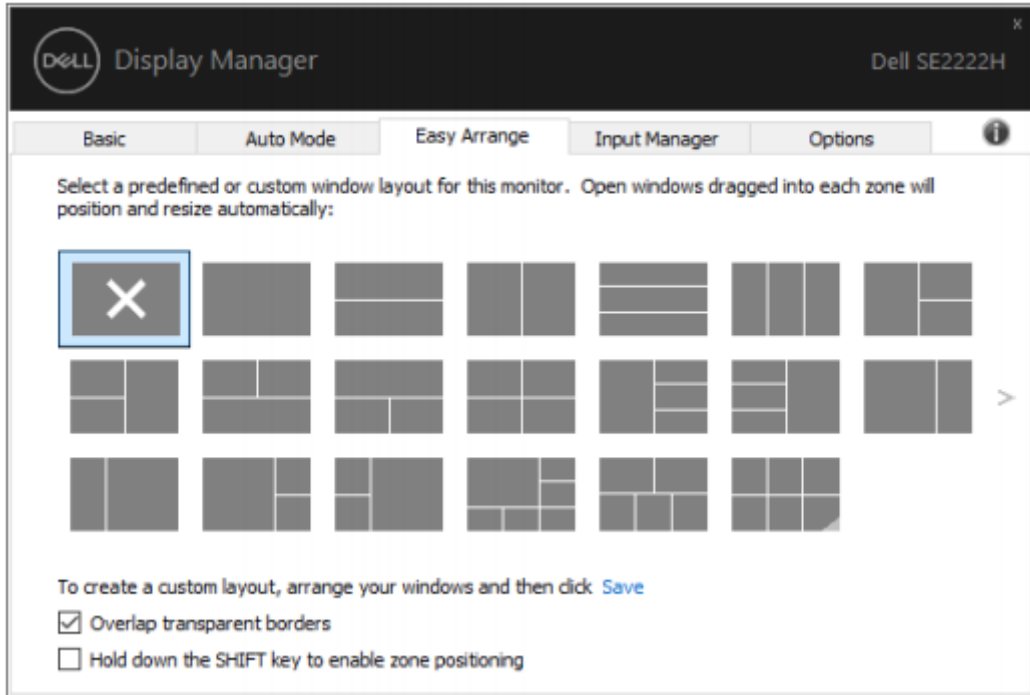
メモ：バッチファイルスクリプト、ローダー、およびzipアーカイブやパックファイルなどの実行不可能なファイルのプリセットモードの割り当てはサポートされていません。

Direct3Dアプリケーションがフルスクリーンモードで実行されるときに使用されるゲームプリセットモードを構成することもできます。アプリケーションがモードを使用しないようにするには、アプリケーションに別のプリセットモードを割り当てます。



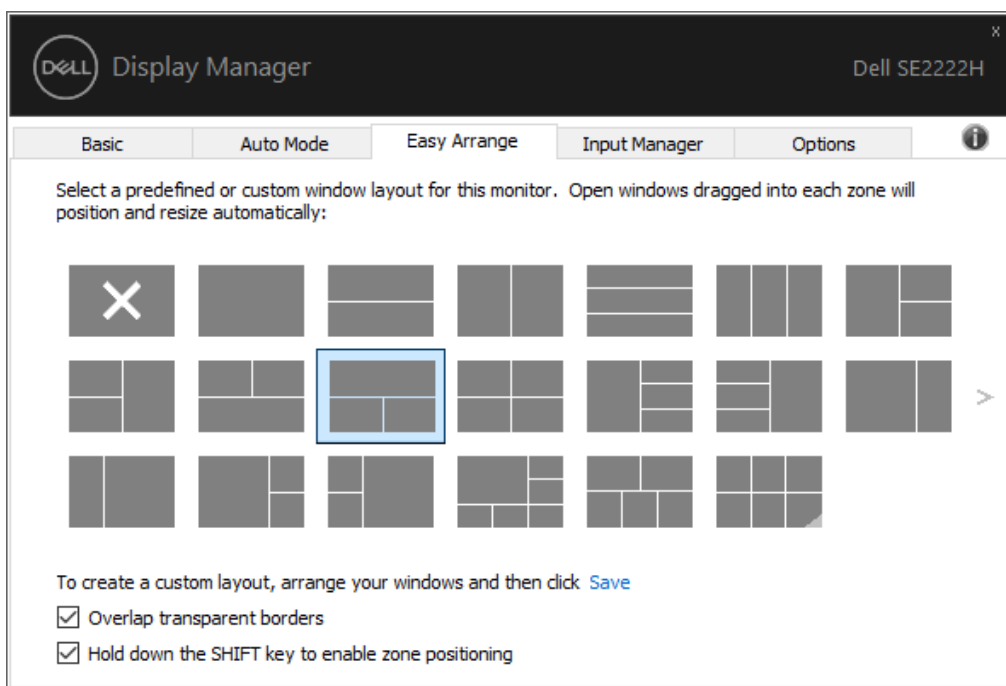
簡単な配置でウィンドウを整理する

Easy Arrangeは、デスクトップ上のアプリケーションウィンドウを効果的に整理するのに役立ちます。まず、作業に適した事前定義されたレイアウトパターンを選択し、次にアプリケーションウィンドウを定義されたゾーンにドラッグするだけです。「>」を押すか、**Page Up / PageDown**キーを使用して他のレイアウトを検索します。カスタムレイアウトを作成するには、開いているウィンドウを配置して、**[保存]**をクリックします。

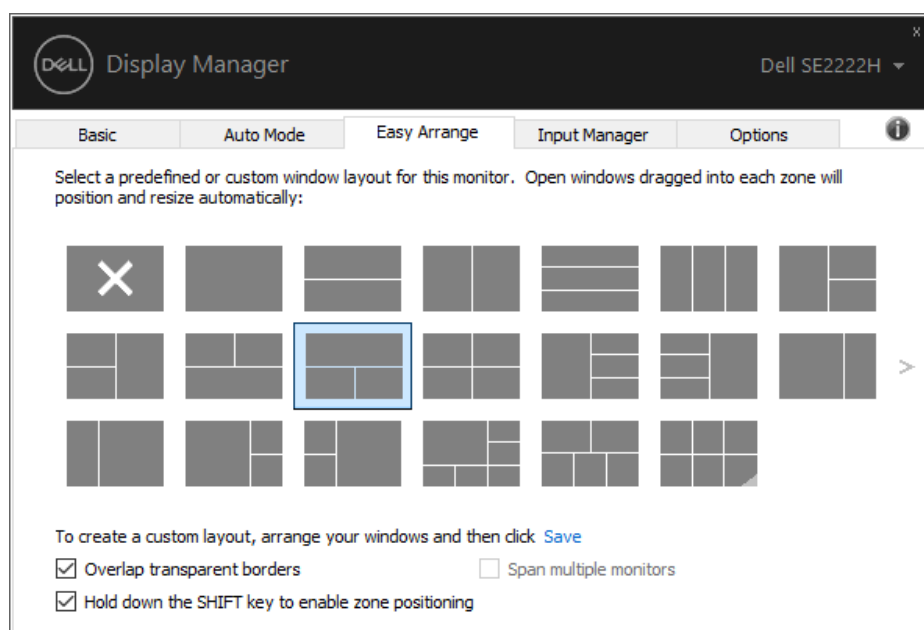


Windows 10の場合、仮想デスクトップごとに異なるウィンドウレイアウトを適用できます。Windows スナップ機能を頻繁に使用する場合は、「**Shift**キーを押しながらゾーンの配置を有効にする」を選択します。これにより、Windows スナップが**Easy Arrange**よりも優先されます。次に、**Easy Arrange**ポジショニングを使用するには、**Shift**キーを押す必要があります。





アレイまたはマトリックスで複数のモニターを使用している場合、**Easy Arrange**レイアウトを1つのデスクトップとしてすべてのモニターに適用できます。この機能を有効にするには、「**複数のモニターをスパン**」を選択します。モニターを効果的に使用するには、モニターを適切に調整する必要があります。



メモ：一部のアプリケーションでは、ウィンドウの最小有効解像度が必要です。ゾーンが必要なウィンドウサイズよりも小さい場合、アプリケーションはイーズアレンジゾーンに収まらない可能性があります。



Easy Arrangeを使用するには、他にも高度な方法があります。以下の表を参照してください。

| 特徴 | 機能 | 説明 |
|-------------------------|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 強化されたイ ージーアレン ジ | カスタムレイアウト | <ul style="list-style-type: none">・ 5つのカスタマイズされたEasy Arrangeパターンを保存して名前を付けます。・ $x * y$パターンを構成します。 |
| | 5 MRU（最近使用された）レイアウト | <ul style="list-style-type: none">・ Ctrl + Shift + Homeを押して、最後の5つのMRUレイアウトを切り替えます |
| オンザフライパーティ ションのサイズ変更 | | <ul style="list-style-type: none">・ Ctrlキーを押しながら、現在のEasy Arrangeレイアウトのサイズを変更して、レイアウト内のセルのサイズと数を調整します。・ 新しく形成されたEasy Arrangeパターンは、Easy Arrangeアイコンの位置に保存されます。・ Ctrlキーを押しながら変更されたレイアウトアイコンをクリックして、デフォルトのレイアウトに戻します。 |

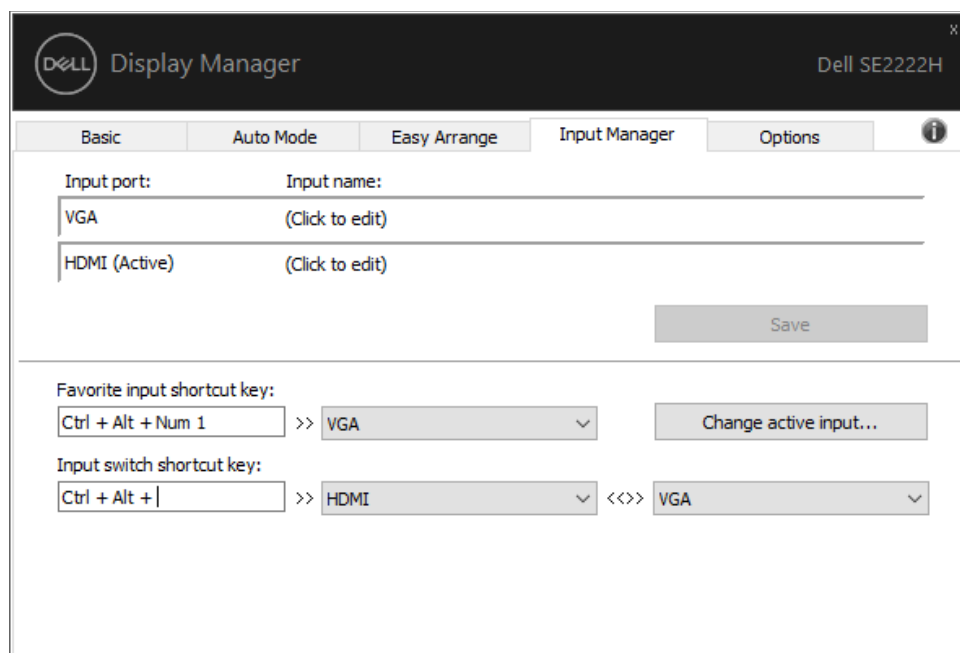


複数のビデオ入力の管理

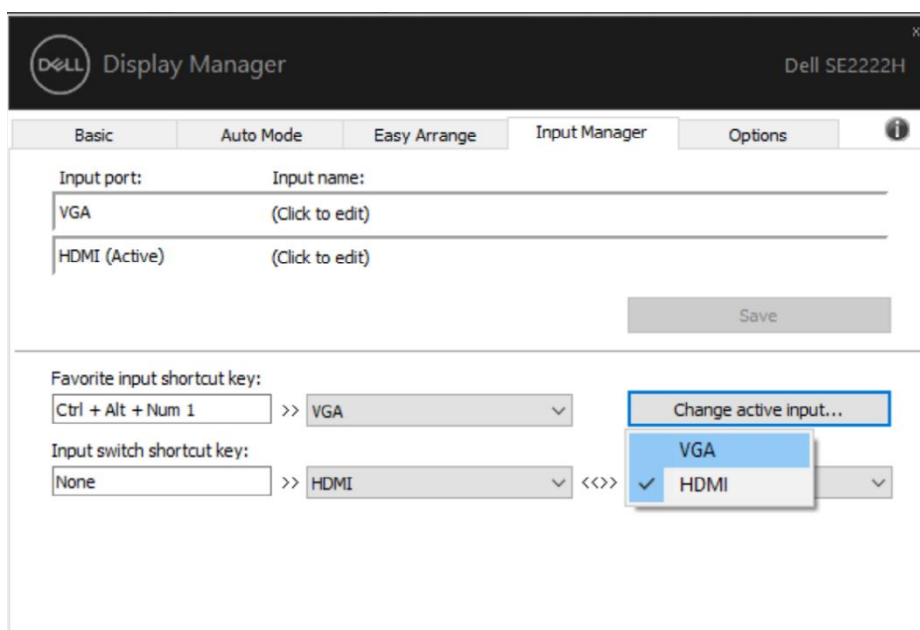
【入力マネージャ】タブは、デルモニターに接続されている複数のビデオ入力を管理するための便利な方法を提供します。複数のコンピューターで作業しているときに、入力を簡単に切り替えることができます。

モニターで使用可能なすべてのビデオ入力ポートが一覧表示されます。各入力に好きな名前を付けることができます。編集後に変更を保存します。

お気に入りの入力にすばやく切り替えるためのショートカットキーと、2つの入力間で頻繁に作業する場合は、2つの入力をすばやく切り替えるための別のショートカットキーを定義できます。



ドロップダウンリストを使用して、使用可能な任意の入力ソースに切り替えることができます。



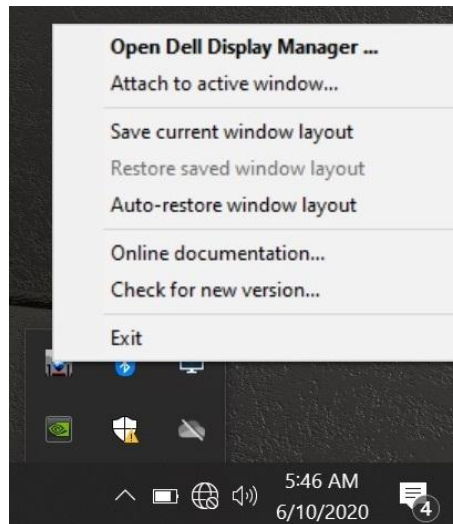
メモ：モニターが別のコンピューターからのビデオを表示している場合でも、DDMはモニターと通信します。頻繁に使用するコンピューターにDDMをインストールし、そこからの入力切り替えを制御できます。

モニターに接続されている他のコンピューターにDDMをインストールすることもできます。

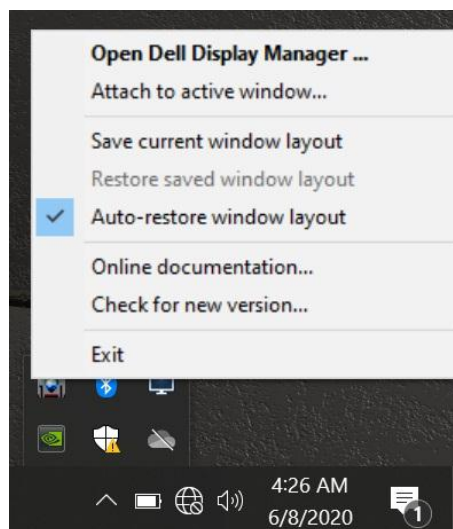


アプリケーションの位置の復元

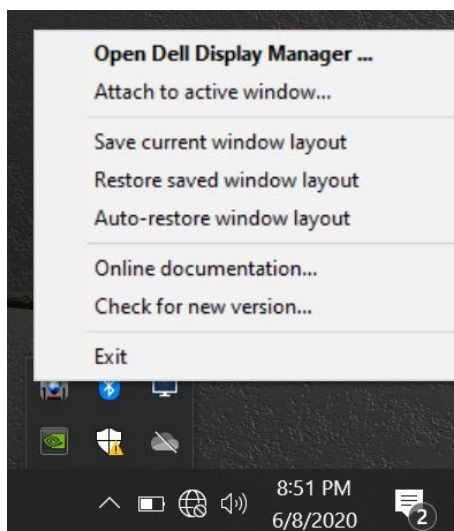
DDMは、コンピューターをモニターに再接続するときに、アプリケーションウィンドウを元の位置に復元するのに役立ちます。通知トレイのDDMアイコンを右クリックすると、この機能にすばやくアクセスできます。



「ウィンドウレイアウトの自動復元」を選択すると、アプリケーションウィンドウの位置が追跡され、DDMによって記憶されます。PCをモニターに再接続すると、DDMはアプリケーションウィンドウを元の位置に自動的に配置します。



アプリケーションウィンドウを移動した後でお気に入りのレイアウトに戻りたい場合は、最初に「現在のウィンドウレイアウトを保存」し、後で「保存したウィンドウレイアウトを復元」することができます。



日常生活でさまざまなモデルや解像度のモニターを使用したり、さまざまなウィンドウレイアウトを適用したりできます。DDMは、再接続したモニターを認識し、それに応じてアプリケーションの位置を復元できます。

モニターマトリックス構成でモニターを交換する必要がある場合は、交換前にウィンドウレイアウトを保存し、新しいモニターのインストール後にレイアウトを復元できます。

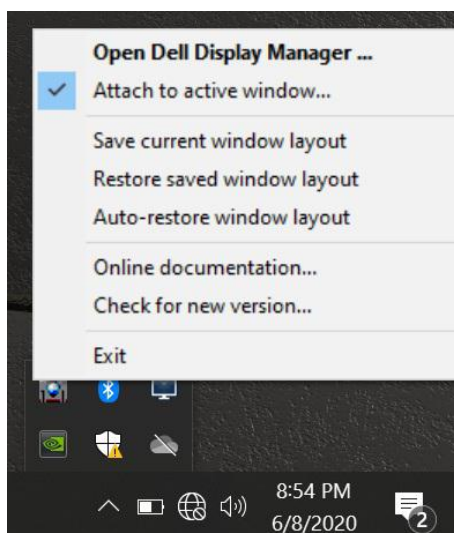


メモ：この機能を利用するには、アプリケーションを実行し続ける必要があります。DDMはアプリケーションを起動しません。

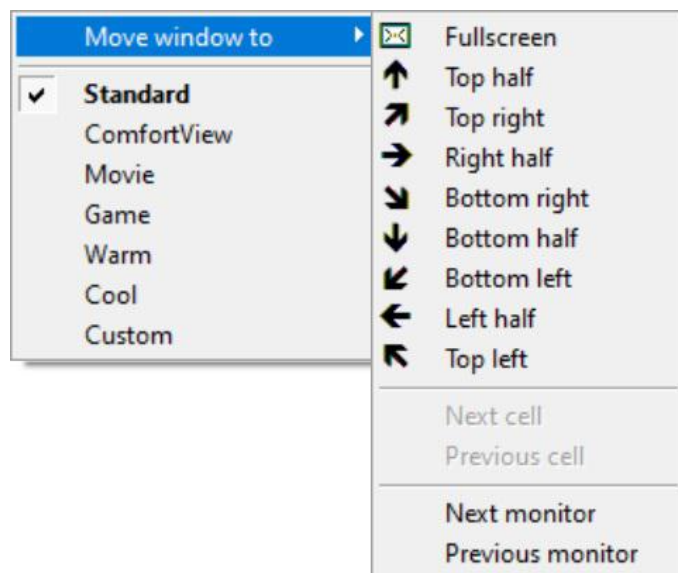


アクティブなウィンドウへのDDMの接続 (Windows 10のみ)

Windows 10の場合、アクティブなウィンドウのツールバー領域にDDMショートカットアイコンを追加できます。この機能を有効にするには、通知トレイのDDMアイコンを右クリックし、開いたメニューから[アクティブなウィンドウにアタッチ]を選択します。



ツールバーのアイコンを右クリックすると、DDMのクイックメニューが表示され、[自動モード]と**Easy Arrange**の下にオプションが表示され、簡単に調整できます。



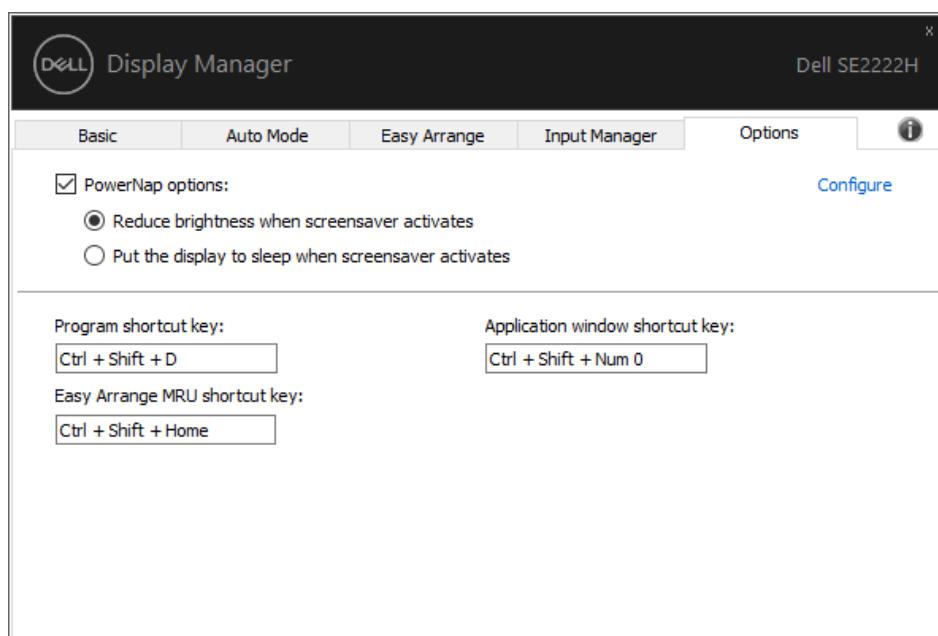
省エネ機能の適用

サポートされているデルモデルでは、PowerNapの省エネオプションを提供する[オプション]タブを利用できます。モニターの明るさを最小レベルに設定するか、スクリーンセーバーがアクティブになったときにモニターをスリープ状態にするかを選択できます。

その他のショートカットキー

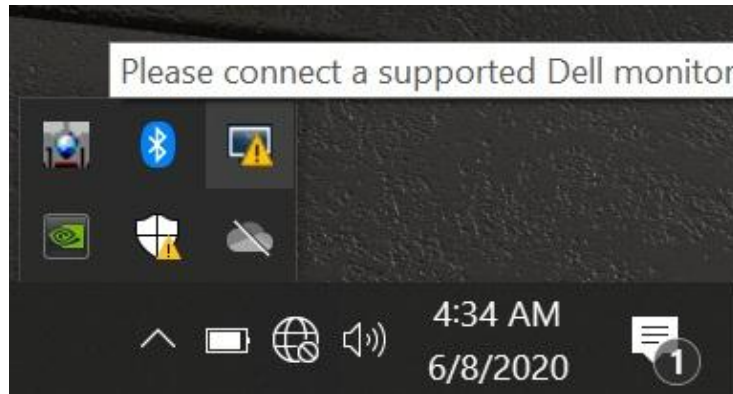
次のDDM機能にすばやくアクセスするためのショートカットキーを定義できます。

- ・ **プログラムのショートカットキー**：[クイック設定]ダイアログボックスをすばやく開きます
- ・ **Easy Arrange RUショートカットキー**：最近使用した5つのウィンドウレイアウトをすばやく適用します
- ・ **アプリケーションウィンドウのショートカットキー**：自動モードとEasy Arrange のオプションのクイックメニューを起動します。

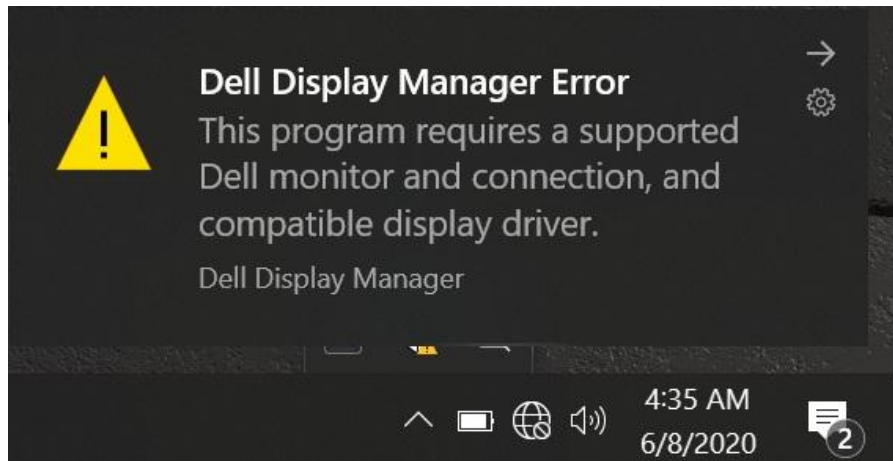


トラブルシューティング

DDMがモニターで機能しない場合、DDMは通知トレイのアイコンの下に表示されます



アイコンをクリックすると、**DDM**はより詳細なエラーメッセージを表示します。



DDMはデルブランドのモニターでのみ機能することに注意してください他のメーカーのモニターを使用している場合、DDMはそれらをサポートしていません。

DDMがサポートされているデルモニターを検出および/または通信できない場合は、以下のアクションを実行してトラブルシューティングを行ってください。

1. ビデオケーブルがモニターとコンピューターの間で正しく接続されていることを確認してください。コネクタが所定の位置にしっかりと挿入されていることを確認します
2. モニターのOSDをチェックして、DDC / CIが有効になっていることを確認します。
3. ベンダー（Intel、AMD、NVIDIAなど）からの適切なグラフィックカードドライバーがあることを確認してください。グラフィックドライバは、多くの場合、DDM障害の原因です。
4. モニターとグラフィックポートの間のドッキングステーション、ケーブルエクステンダー、およびコンバーターをすべて取り外します。一部の低コストのエクステンダー、ハブ、またはコンバーターは、DDC / CIを適切にサポートしておらず、DDMに障害が発生する可能性があります。最新バージョンが利用可能な場合は、そのようなデバイスのドライバーを更新してください
5. コンピュータを再起動してください。



DDMは以下のモニターでは機能しない場合があります。

- ・ 2013年より前に出荷されたデルモニターモデルおよびDシリーズのデルモニター。詳細については、www.dell.com/support/monitorsを参照してください。
- ・ NvidiaベースのG-syncテクノロジーを使用したゲームモニター。
- ・ 仮想およびワイヤレスディスプレイはDDC / CIをサポートしていません。
- ・ DP 1.2モニターの初期モデルの中には、モニターOSDを使用してMST / DP1.2を無効にする必要がある場合があります。

コンピューターがインターネットに接続されている場合は、利用可能になったときに新しいバージョンのDDMにアップグレードするように求められます。最新のDDMアプリケーションをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

「Shift」キーを押しながらDDMアイコンを右クリックして、新しいバージョンを確認することもできます。

